

平成26年度 主な事業

～みなさんに納めていただいた税金は、次のような事業に役立てました～

- ①第6次宇美町総合計画策定事業 546万9千円**
 ・平成27年度から平成34年度までの8年間のまちづくりの方向性を定めた総合計画を策定しました。
- ②宇美都市計画マスタープラン策定事業 858万円**
 ・都市計画法の規定に基づき、都市計画の基本方針であるマスタープランを策定しました。
- ③子ども・子育て支援事業計画策定事業 250万3千円**
 ・子ども・子育て支援法の施行に伴い、平成27年度から平成31年度までの5年間にわたる町の子ども・子育て支援の方向性を示した「子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。
- ④第2次宇美町子ども読書活動推進計画策定事業 13万5千円**
 ・平成19年度に策定した前計画を検証し、第2次宇美町子ども読書活動推進計画を策定しました。
- ⑤施設保全計画策定事業 1,180万1千円**
 ・町内の公共施設について、今後の維持管理等を合理的かつ計画的に行うために策定する施設保全計画策定（5か年計画）の初年度として、6小中学校の保全計画を策定しました。
- ⑥町営住宅建替え基本計画策定事業 804万6千円**
 ・老朽化した昭和町町営住宅の建替えに係る基本計画を策定しました。
- ⑦橋梁調査・補修設計・修繕工事事業 1,922万6千円**
 ・宇美町橋梁長寿命化推進計画に基づき、橋梁5橋の詳細調査と補修設計業務を実施するとともに、赤井手橋・六反田橋の修繕工事を実施しました。
- ⑧民間保育園整備事業 575万4千円**
 ・平成28年4月に民間保育園を開園するに当たり、保育所用地の造成に着手しました。
- ⑨中央公民館大ホール空調設備改修事業 2,315万7千円**
 ・築35年が経過していた中央公民館大ホールの空調設備の改修を行いました。
- ⑩最終処分場2期整備事業 7億8,285万5千円**
 ・2か年事業で行ってきた最終処分場の2期工事が竣工し、平成27年4月1日から供用を開始しました。
- ⑪自治体クラウド基幹業務システム整備運営事業 1,572万2千円**
 ・平成27年9月末で「宇美・志免・須恵 業務システム再構築事業」が終了することに伴い、当該事業終了後も3町共同にて基幹業務システムを自治体クラウド方式により整備することとしており、当該システムの導入準備作業を実施しました。



①第6次宇美町総合計画策定事業



着工前

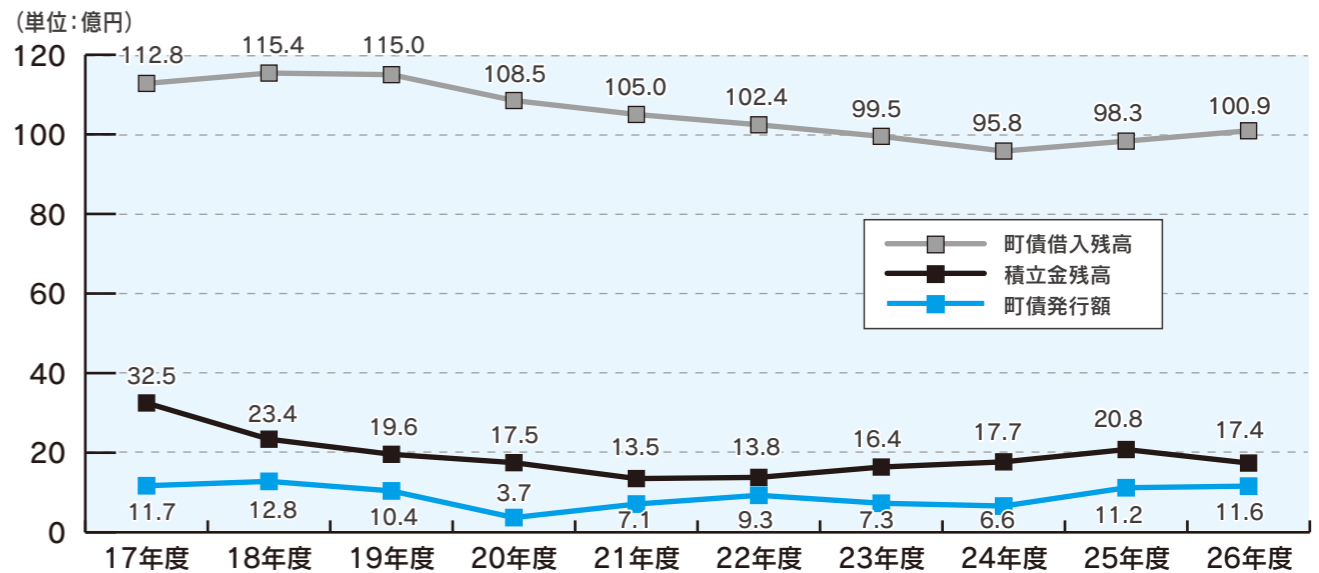


着工後



⑦橋梁調査・補修設計・修繕工事事業（赤井手橋修繕工事）

一般会計の積立金残高、町債借入残高及び町債発行額の推移



※千円単位未満四捨五入
 ◎平成26年度と平成17年度を比較すると、積立金残高が15.1億円減少しています。

健全化判断比率と資金不足比率

いずれかの指標が「早期健全化基準」(＝黄色信号)以上になると、町議会で「財政健全化計画」を議決し、自主的な改善努力による財政健全化を図ることとなります。また、「財政再生基準」(＝赤信号)を超える指標がある場合はいわゆる「財政破綻」と見なされ、国などの関与による確実な財政再建に取り組まなければならないこととなります。
 平成26年度決算に基づく町の健全化判断比率等は、いずれも基準値以下の水準を保っています。

指標	宇美町	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率 一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率	赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。	14.04%	20.00%
連結実質赤字比率 全ての会計の実質赤字額(資金の不足額)の標準財政規模に対する比率	赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。	19.04%	30.00%
実質公債費比率 一般会計等が負担する元利(準元利)償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率	9.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率	38.8%	350.0%	
資金不足比率 公営企業(上水道・下水道事業)ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	赤字額が発生していないため、表示される数値はありません。	20.0%	

※標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税等を加算した額をいいます。

